

町有千代田住宅 3 号棟屋上防水改修工事

[illegible]

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事

③

防水改修工事	10	アルミニウム製笠木	といて受け金物及び足金物の材質、形状及び取付け間隔 ※ 改修標準仕様書表3.8.2により、溶融亜鉛めっきを行ったもの ・ 多雪地域 ・適用する ・適用しない 防露材のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外 既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法 ※ 図示 銅管製といの防露巻き ※ 改修標準仕様書表3.8.4による ・ たてどい受金物の取付け ※ 図示 ・		[3.9.2.3]	種類 ・ オープン形式（ ・ 押出250形 ・ 押出300形 ・ 押出350形） ・ 板材折曲げ形（ ・ オープン形式 ・ シール形式） 本体幅（ ）mm 板厚（※ 2.0mm ）mm 表面処理 種類（ ）種 色合等 ・ 標準色（ ） ・ 特注色（ ） 既存笠木の撤去 ・ 行う（範囲 ※ 図示 ・ ） ・ 行わない 下地補修の工法 ※ 図示 ・ 板材折曲げ形の笠木の取付方法 ※ 図示 ・ 笠木の固定金具の工法等 1章 17 適用区分による風圧力の（ ・ 1 ・ 1.15 ・ 1.3）倍の風圧力に対応した工法	防水改修フロー及び数量 ③ 既存保護層の補修及び処置	防水面調査（施工数量調査）		4 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31 32 33 34 35 36 37 38 39 40 41 42 43 44 45 46 47 48 49 50 51 52 53 54 55 56 57 58 59 60 61 62 63 64 65 66 67 68 69 70 71 72 73 74 75 76 77 78 79 80 81 82 83 84 85 86 87 88 89 90 91 92 93 94 95 96 97 98 99 100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127 128 129 130 131 132 133 134 135 136 137 138 139 140 141 142 143 144 145 146 147 148 149 150 151 152 153 154 155 156 157 158 159 160 161 162 163 164 165 166 167 168 169 170 171 172 173 174 175 176 177 178 179 180 181 182 183 184 185 186 187 188 189 190 191 192 193 194 195 196 197 198 199 200 201 202 203 204 205 206 207 208 209 210 211 212 213 214 215 216 217 218 219 220 221 222 223 224 225 226 227 228 229 230 231 232 233 234 235 236 237 238 239 240 241 242 243 244 245 246 247 248 249 250 251 252 253 254 255 256 257 258 259 260 261 262 263 264 265 266 267 268 269 270 271 272 273 274 275 276 277 278 279 280 281 282 283 284 285 286 287 288 289 290 291 292 293 294 295 296 297 298 299 300 301 302 303 304 305 306 307 308 309 310 311 312 313 314 315 316 317 318 319 320 321 322 323 324 325 326 327 328 329 330 331 332 333 334 335 336 337 338 339 340 341 342 343 344 345 346 347 348 349 350 351 352 353 354 355 356 357 358 359 360 361 362 363 364 365 366 367 368 369 370 371 372 373 374 375 376 377 378 379 380 381 382 383 384 385 386 387 388 389 390 391 392 393 394 395 396 397 398 399 400 401 402 403 404 405 406 407 408 409 410 411 412 413 414 415 416 417 418 419 420 421 422 423 424 425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444 445 446 447 448 449 450 451 452 453 454 455 456 457 458 459 460 461 462 463 464 465 466 467 468 469 470 471 472 473 474 475 476 477 478 479 480 481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508 509 510 511 512 513 514 515 516 517 518 519 520 521 522 523 524 525 526 527 528 529 530 531 532 533 534 535 536 537 538 539 540 541 542 543 544 545 546 547 548 549 550 551 552 553 554 555 556 557 558 559 560 561 562 563 564 565 566 567 568 569 570 571 572 573 574 575 576 577 578 579 580 581 582 583 584 585 586 587 588 589 590 591 592 593 594 595 596 597 598 599 600 601 602 603 604 605 606 607 608 609 610 611 612 613 614 615 616 617 618 619 620 621 622 623 624 625 626 627 628 629 630 631 632 633 634 635 636 637 638 639 640 641 642 643 644 645 646 647 648 649 650 651 652 653 654 655 656 657 658 659 660 661 662 663 664 665 666 667 668 669 670 671 672 673 674 675 676 677 678 679 680 681 682 683 684 685 686 687 688 689 690 691 692 693 694 695 696 697 698 699 700 701 702 703 704 705 706 707 708 709 710
--------	----	-----------	--	--	-----------	--	-------------------------------	---------------	--	---

外壁改修フロー及び数量

・ コンクリート打放し仕上り外壁の場合

既存仕上り材の処理範囲 ※ 既存仕上り面全体 ・ 図示

外 壁 調 査 （ 施 工 数 量 調 査 ）

ひび割れ部改修		欠損部改修	
樹脂注入工法（注１）			
A) 0.2以上0.3未満 m	リカットシール 材充填工法 m	シール工法 m	充填工法 鋼鉄筋部補修工法 （改修標準仕様書4.3.3(b) 幅100mm程度 力所 m
A) 0.3以上0.5未満 m			
A) 0.5以上1.0未満 m			
B) 0.2以上0.3未満 m			
C) 0.3以上0.5未満 m			
C) 0.5以上1.0未満 m			
下地調整材の施工範囲 ※ 既存仕上り面全体 ・ 図示			
仕上り塗材仕上げ施工範囲 ※ 既存仕上り面全体 ・ 図示			

・ モルタル塗り仕上り外壁の場合

既存仕上り材の処理範囲 ※ 既存仕上り面全体 ・ 図示

外 壁 調 査 （ 施 工 数 量 調 査 ）

ひび割れ部改修		浮き部改修	
モルタル撤去 ・ しない ・ する			
アンカービニング注入工法			
樹脂注入工法（注１）			
A) 0.2以上0.3未満 m	リカットシール 材充填工法 m	シール工法 m	モルタル 壁替え工法 （工法名） D=φ 一般部分 m2 指定部分 m2 カッター切り m カッター切り m
A) 0.3以上0.5未満 m			
A) 0.5以上1.0未満 m			
B) 0.2以上0.3未満 m			
C) 0.3以上0.5未満 m			
C) 0.5以上1.0未満 m			
下地調整材の施工範囲 ※ 既存仕上り面全体 ・ 図示			
仕上り塗材仕上げ施工範囲 ※ 既存仕上り面全体 ・ 図示			

・ タイル張り仕上り外壁の場合

外 壁 調 査 （ 施 工 数 量 調 査 ）

ひび割れ部改修		欠損部改修		浮き部改修		目地改修	
タイル撤去 ・ する ・ しない							
アンカービニング注入工法							
樹脂注入工法（注１）							
A) 0.2以上0.3未満 m	リカットシール 材充填工法 m	タイル部分 張替工法 m2	タイル張替 工法 m2	（工法名） D=φ 一般部分 m2 指定部分 m2	目地ひび割れ 改修 mm× mm mm× mm	伸縮目地改修 mm× mm	
A) 0.3以上0.5未満 m							
A) 0.5以上1.0未満 m							
B) 0.2以上0.3未満 m							
C) 0.3以上0.5未満 m							
C) 0.5以上1.0未満 m							

（注１） 4-2.1、4-3.1及び4-4.2のひび割れ部改修工法における樹脂注入工法の種類を示す
 A) 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法、B) 手動式エポキシ樹脂注入工法、C) 機械式エポキシ樹脂注入工法

1	改修工法	[5. 1. 1]		
建具改修工事	建具の種類	かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
	・ アルミ製建具	・	・ ※	建具表による ・
	・ 樹脂製建具	・	・	※ 建具表による ・
	・ 鋼製建具	・ 外部	・	※ 建具表による ・
		・ 内部	・	※ 建具表による ・
	・ 鋼製軽量建具		・	※ 建具表による ・
	・ ステンレス製建具		・ ※	建具表による ・
	新規に建具を設ける場合			
	壁部分の開口の閉け方 ※ 図示 ・			
	新規建具周囲の補修工法及び範囲 ※ 図示 ・			
2	防火戸	・ 適用する 指定箇所 (※ 建具表による ・	)	[5. 1. 4]
3	建具見本の製作	※ 製作しない ・ 製作する (・ 納まり等が分かる程度のもの ・	)	[5. 1. 5]
4	防犯建物部品	・ 適用する 適用箇所 (※ 建具表による ・	)	[5. 1. 7]
5	アルミニウム製建具	性能値等 [5. 2. 2 ~ 5] [表 5. 2. 2]		
	・ 耐風圧性の等級 (・	・ 気密性の等級 (・	・ 水密性の等級 (・	)
	※ 改修標準仕様書表 5.2.1 による種別			
	外部に面する建具の種別	・ A 種 (建具符号 : ・	・ 全て ・ 建具表による ・	)
		・ B 種 (建具符号 : ・	・ 全て ・ 建具表による ・	)
		・ C 種 (建具符号 : ・	・ 全て ・ 建具表による ・	)
	防音ドア、防音サッシ	遮音性の等級 (・	)	
		(建具符号 : ・ 建具表による ・	)	
	断熱ドア、断熱サッシ	断熱性の等級 (・	)	
		(建具符号 : ・ 建具表による ・	)	
	耐震ドア	面内変形追随性の等級 (・	)	
		(建具符号 : ・ 建具表による ・	)	
	耐震性能			
	建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による			
	ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430/JIS 又は SUS443/JIS			
	形状及び仕上げ			
	寸法の見込み寸法 ※ 建具表による ・			
	表面処理			
	外部に面する建具 種別 ・ BB-1 種 ・ BB-2 種	色合等 ※ 標準色 (・	・ 特注色 (・	)
	箇内の建具 種別 ・ BC-1 種 ・ BC-2 種	色合等 ※ 標準色 (・	・ 特注色 (・	)
	結露水の処理方法 ※ 図示 ・			
	取付工法			
	水切り板、ぜんば ※ 図示 ・			

6	網等	材質			線径		【5.2.2】
		種類	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス (SUS316) 製	※ 0.25mm以上 ・	※ 16〜18メッシュ ・		
		・ 防鳥網	ステンレス (SUS304) 線材	1.5mm	網目寸法15mm		
		【5.2.2】 【5.3.2〜5】					
7	樹脂製建具	性能値等					
		・ 耐風圧性の等級 ()、気密性の等級 ()、水密性の等級 ()					
		※ 改修標準仕様書5.3.1による種別					
		外部に面する建具 ・ A種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)					
		・ B種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)					
		・ C種 (建具符号: ・ 全て ・ 建具表による ・)					
		防音ドア、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2					
		(建具符号: ・ 建具表による ・)					
		断熱ドア、断熱サッシ の断熱性の等級 ・ H-4 ・ H-5 ・ H-6					
		(建具符号: ・ 建具表による ・)					
		形状及び仕上げ					
		枠の見込み寸法 ※ 建具表による					
		表面色 ※ 標準色 ・ 特注色					
		取付工法					
		水切り板、せんば板 ※ 図示					
		ガラス ※ 複層ガラス					
8	鋼製建具	【5.2.2】 【5.4.2〜4】 【表5.4.2】					
		性能値等 (建具符号: ・ 建具表による ・)					
		簡易気密型ドアセット ・ 適用する					
		外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4					
		・ S-5					
		・ S-6					
		防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ()					
		断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ()					
		耐震ドア 面内変形追随性の等級 ()					
		耐震性能					
		建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による					
		ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1					
		形状及び仕上げ					
		鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書5.4.2による					
		使用箇所 ()					
9	鋼製軽建具	【5.2.2】 【5.5.2〜4】					
		性能値等 (建具符号: ・ 建具表による ・)					
		簡易気密型ドアセット ・ 適用する					
		防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ()					
		断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ()					
		耐震ドア 面内変形追随性の等級 ()					
		耐震性能					
		建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による					
		鋼板の材料 ※ 両面めっき鋼板 ・ ビニル被覆鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板					
		ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1					
		形状及び仕上げ					
		鋼板類の厚さ ※ 改修標準仕様書5.5.1による					
		使用箇所 ()					
		召合せ、縦小口包み板の材質 ※ 鋼板					
10	ステンレス製建具	【5.2.2】 【5.4.2】 【5.6.2〜5】					
		性能値等 (建具符号: ・ 建具表による ・)					
		簡易気密型ドアセット ・ 適用する					
		外部に面する面する建具の耐風圧性 ・ S-4					
		・ S-5					
		・ S-6					
		防音ドア、防音サッシ 遮音性の等級 ()					
		断熱ドア、断熱サッシ 断熱性の等級 ()					
		耐震ドア 面内変形追随性の等級 ()					
		耐震性能					
		建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による					
		ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1					
		形状及び仕上げ					
		表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ					
		工法					
		ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (・ a角 ・ b角 ・ c角)					
11	建具用金物	金物の種類及び見え掛り部の材質等					
		※ 改修標準仕様書5.7.1及び適用は建具表による					
		金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 改修標準仕様書5.7.2による					
		樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ ※ 標準仕様書5.7.3による					
		握り玉及びレバーハンドル、押板類、クレセントの取付位置 ※ 建具表による					
		錠前類					
		【シリンダ錠及びシリンダ本締まり錠】					
		(品質)					
		デッドボルトの寸法は17mm以上とする。鍵付きものはマスターキー、グラッドマスターキー、コンストラクションキーなどのキーシステムが構築できるものとする。					
		(性能)					
		<使用頻度による性能>					
		1) (シリンダ錠のみ) ラッチボルトの開閉繰り返し試験 (40万回) を行なった後、ハンドルでの開閉操作力及びラッチング力が試験前の2倍未満であり、動作に支障がない。					
		2) キーによるデッドボルトの施解錠繰り返し試験 (10万回) を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。(シリンダ本締り錠のみ) シリンダ単体の施解錠繰り返し試験の評価は、シリンダ だけの回転トルクが10N・cm以下とする。					
		3) キーによる施解錠機構の施解錠繰り返し試験 (10万回) を行なった後、試験前の回転トルクの2倍未満であり、施解錠操作に支障がない。					
		4) キーの抜き差し繰り返し試験 (10万回) を行なった後、キーの抜き差しに要する荷重は10N以下である。また、未使用の自錠でシリンダが回転できず、かつ、1箇所1段差浅い刻みをもつ異なるキーでは、シリンダが回転しないこと。(キーに加えるトルクは、150N・cmとする)					
		<外力に対する性能>					
		1) デッドボルトの押込み強度試験 (10KN) を行なった後、荷重を除いたときのデッドボルトの寸法は8mm以上であること。					
		2) デッドボルトの側圧強度試験 (10KN) を行なった後、加圧板がデッドボルトを通過しない。					
		3) デッドボルトの押込み強度 (衝撃荷重) 試験 (58.8J) の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態 (デッドボルトの突出量が8mm未満) にならないこと。					
		4) デッドボルトの側圧強度 (衝撃荷重) 試験 (58.5J) の衝撃荷重を加えたとき、解錠状態 (加圧板がデッドボルトを通過した状態) にならないこと。					
		5) (シリンダ本締り錠はグレード3以上の形込錠の場合) ストライクプレートの厚さ1.5mm以上のステンレス鋼製とし、ストロークは厚さ1.6mm以上の鋼製の一体絞りとする。又はストライクの強度と同等以上の強度をもつものとする。					
		<使用質量に対する性能 (シリンダ錠のみ)>					
		1) ラッチボルトの側圧強度試験 (4KN) を行い、荷重を除いたとき、ハンドル操作及びラッチングに支障がない。					

5	建具改修工事	2) レバー・ハンドルへのねじり強度試験 (3.5K N・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。		3) 握り玉のねじり強度試験 (3K N・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、握り玉が正常に作動していること。また、施錠時握り玉が固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。		4) ハンドルの引張強度試験 (2K N) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。		5) ハンドルの垂直荷重強度試験 (2K N) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がない。		
		<鍵>		1) かぎ(鍵) 数は、1.5万以上とする。ただし、異なるキーウェイ形状であっても、共通のキーセクションが存在する場合は、有効かぎ(鍵) 違い数とみなさないものとする。		2) 同一コンブラーの使用数は、60%以下とする。また、6本コンブラーにおいては、キーの同一刻みは、最大2連続までとしていること。		試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物—錠—第1部：試験方法) による。		
		【レバー・ハンドル】		(性能)		<ねじり強度>		レバー・ハンドルのねじり強度試験 (3.5K N・cm) を行なった後、トルクを除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。		
		<引張り強度>		ハンドルの引張強度試験 (2K N) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。		<垂直荷重強度>		ハンドルの垂直荷重強度試験 (2K N) を行い、荷重を除いたとき、ハンドルが正常に作動していること。また、施錠時ハンドルが固定される錠は、施錠状態が維持され、かつ、施解錠操作に支障がないこと。		
		試験方法は、JIS A 1541-1 (建築金物—錠—第1部：試験方法) による。		クローザー類		(品質・性能)				
		区分		① ドアクローザー		② ヒンジクローザー		③ フロアヒンジ		
12	錠	性能試験項目		閉じモーメント		閉じモーメント		閉じモーメント		
		Grade2 番手		効率		効率		効率		
		閉じ力及び効率による区分		(N・m)		(N・m)		(N・m)		
		1		5以上		5以上		5以上		
		2		10以上		10以上		10以上		
		3		15以上		15以上		15以上		
		4		25以上		25以上		25以上		
		5		35以上		35以上		35以上		
		6		45以上		45以上		45以上		
		閉じ速度(秒)		常温(5~35℃) 無風状態において、閉鎖(70°) から全開(0°) までの時間を5~8秒に調整できること。						
13	自動ドア開閉装置	温度依存性(℃)		導電油の流動点は、JIS K 2269(原油及び石油製品の流動点並びに石油製品曇り点試験方法) により測定し、-16℃以下であること。						
		ストッパ力		60N・m以下 但し、コンシールド型は200N・m以下		100N・m以下		100N・m以下		
		バック解除力		8N・m以上		3N・m以上		10N・m以上		
		バックチェック性能(秒)		ドア開成方向に荷重60N/m ² を閉鎖50°から負荷する(バックチェック開始角度70~85°) から實に20°まで開く間の時間は0.5秒以上としていること。		□		□		
		ディレードアクション性能(秒)		ディレードアクション解除角度までの時間が10秒以上確保でき、また、その時間の調整が可能であること。		□		□		
		ディレードアクション解除角度(60~75°) (ディレードアクション機能を有する機構のみ適用)								
		戸の開閉位置(中心吊り込み両自由のみに適用)		□		□		±3mm以内		
		繰返し閉鎖後の閉じモーメント(N・m)		Grade2 耐久試験後も上記閉鎖値を満足していること。		耐久試験後も上記閉鎖値を満足していること。		耐久試験後も上記閉鎖値を満足していること。		
		繰返し閉鎖後の効率(%)		Grade2 耐久試験後も上記閉鎖値を満足していること。		耐久試験後も上記閉鎖値を満足していること。		耐久試験後も上記閉鎖値を満足していること。		

5	建具改修工事	多機能トイレ出入口引き戸用駆動装置		性能値	- 改修標準仕様書表5.8.2による - 引き戸用検出装置の種類は、多機能トイレスイッチとする
		引き戸用検出装置			
14	自閉式上吊り引き戸装置	性能値		- 改修標準仕様書表5.8.3による - 種類 - 光線（反射）センサー - 熱線センサー - 音波センサー - 光电センサー - 電波センサー - タッチスイッチ - 押しボタンスイッチ	- 戸の開閉方式 ※ 建具表による - 防錆 ※ 適用する - 凍結防止措置 ※ 適用しない
		性能値等 ※ 標準仕様書表5.9.1による			
15	重量シャッター	シャッターの種類		- 管理用シャッター 耐風圧強度 () N/m² - 外壁用防火シャッター 耐風圧強度 () N/m² - 屋内用防火シャッター - 防煙シャッター	- 開閉方式の種類 ※ 上部電動式（手動併用） - 二重チェーン、急降下制動装置、急降下停止装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※ 図示 - 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※ 図示 - 屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構の設置箇所 ※ 「防火区画に用いる防火設備等の構造方法を定める件」（昭和48年12月28日建設省告示第2563号）に定める基準に適合するもの - 管理用シャッターのシャッターケース 設ける 設けない - スラット及びシャッターケース用鋼板 - 鋼板の種類 - JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯） - JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき及び鋼帯） - めっきの付着量 ※ Z1又はF12を満足するもの - ガイドレール、まぐさ、両側に用いる座板及び座板のカバー、両側に用いるスイッチボックス類のふたの材質 - ステンレス鋼板の材料 ※ SUS304、SUS430J1又はSUS443J1
		重量シャッター			
16	軽量シャッター	開閉方式の種類 ※ 手動式		- 耐風圧強度 () N/m² - 障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置箇所 ※ 図示 - スラットの材質の種類 - JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼板） - めっきの付着量 ※ Z06 又はF06を満足するもの - JIS G 3312（塗装溶融 5 6 %アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼板） - めっきの付着量 ※ AZ90 を満足するもの - スラットの形状 ※ インターロッキング形、オーバーラッピング形 - シャッターケース ※ 設ける 設けない - ガイドレール（中柱共）の材質 ※ ステンレス鋼板（SUS304） 厚さ1.0mm - 座板の材質（屋外の場合） ※ ステンレス製既製品	※ 図示 - スラットの材質の種類 ※ JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼板） - めっきの付着量 ※ Z06 又はF06を満足するもの ※ JIS G 3312（塗装溶融 5 6 %アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼板） - めっきの付着量 ※ AZ90 を満足するもの - スラットの形状 ※ インターロッキング形、オーバーラッピング形 - シャッターケース ※ 設ける 設けない - ガイドレール（中柱共）の材質 ※ ステンレス鋼板（SUS304） 厚さ1.0mm - 座板の材質（屋外の場合） ※ ステンレス製既製品
		軽量シャッター			
17	オーバーヘッドドア	セクション材料による区分		- 耐風圧性能区分 - 開閉方式による区分 - 収納方式による区分 - ガイドレールの材料	※ スチールタイプ ※ アルミニウムタイプ ※ ファイバーグラスタイプ ※ バランス式 ※ チェーン式 ※ 電動式 ※ スタンダード形 ※ ローヘッド形 ※ ハイルフト形 ※ パーチカル形 ※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ※ ステンレス鋼板
		電動式タイプで障害物感知装置を設ける箇所 ※ 図示			
18	木製建具	建具材の加工、組立時の含水率 ※ 日種		建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量 ※ 規制対象外	- 表面材の合板の種類 - 合板の種類 - 規格等 - 備考
		表面材の合板の種類			
19	木製建具	表面材の合板の種類		- 規格等 - 備考	※ 普通合板 ※ 天然木化粧合板 ※ 特殊加工化粧合板
		表面材の合板の種類			
20	木製建具	表面材の合板の種類		- 規格等 - 備考	※ 普通合板 ※ 天然木化粧合板 ※ 特殊加工化粧合板
		表面材の合板の種類			
21	木製建具	表面材の合板の種類		- 規格等 - 備考	※ 普通合板 ※ 天然木化粧合板 ※ 特殊加工化粧合板
		表面材の合板の種類			
22	木製建具	表面材の合板の種類		- 規格等 - 備考	※ 普通合板 ※ 天然木化粧合板 ※ 特殊加工化粧合板
		表面材の合板の種類			
23	木製建具	表面材の合板の種類		- 規格等 - 備考	※ 普通合板 ※ 天然木化粧合板 ※ 特殊加工化粧合板
		表面材の合板の種類			
24	木製建具	表面材の合板の種類		- 規格等 - 備考	※ 普通合板 ※ 天然木化粧合板 ※ 特殊加工化粧合板
		表面材の合板の種類			
25	木製建具	表面材の合板の種類		- 規格等 - 備考	※ 普通合板 ※ 天然木化粧合板 ※ 特殊加工化粧合板

町有千代田住宅 3 号棟屋上防水改修工事
設計年月：2025 年 3 月
AK 建築設計事務所
広島県知事登録第 22(1)5254 号
AK 建築設計事務所
広島県山県郡北広島町春木 1519-1
設計者 小泉 満 一級建築士
管理建築士 第 321667 号
改修工事特記仕様書 5
A-05
A3版：70.07% A2版：100%

[illegible]

[illegible]

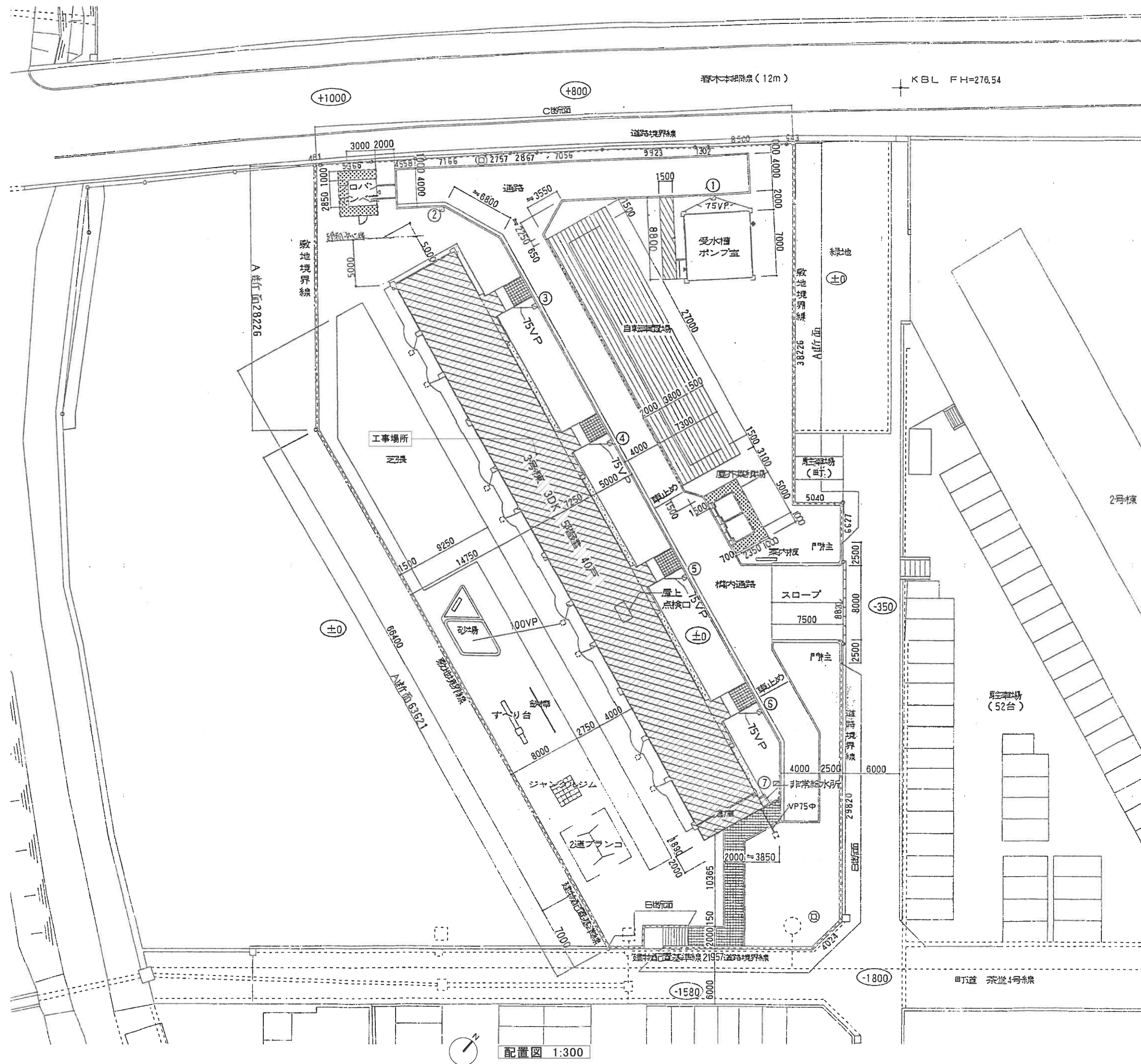
[illegible]

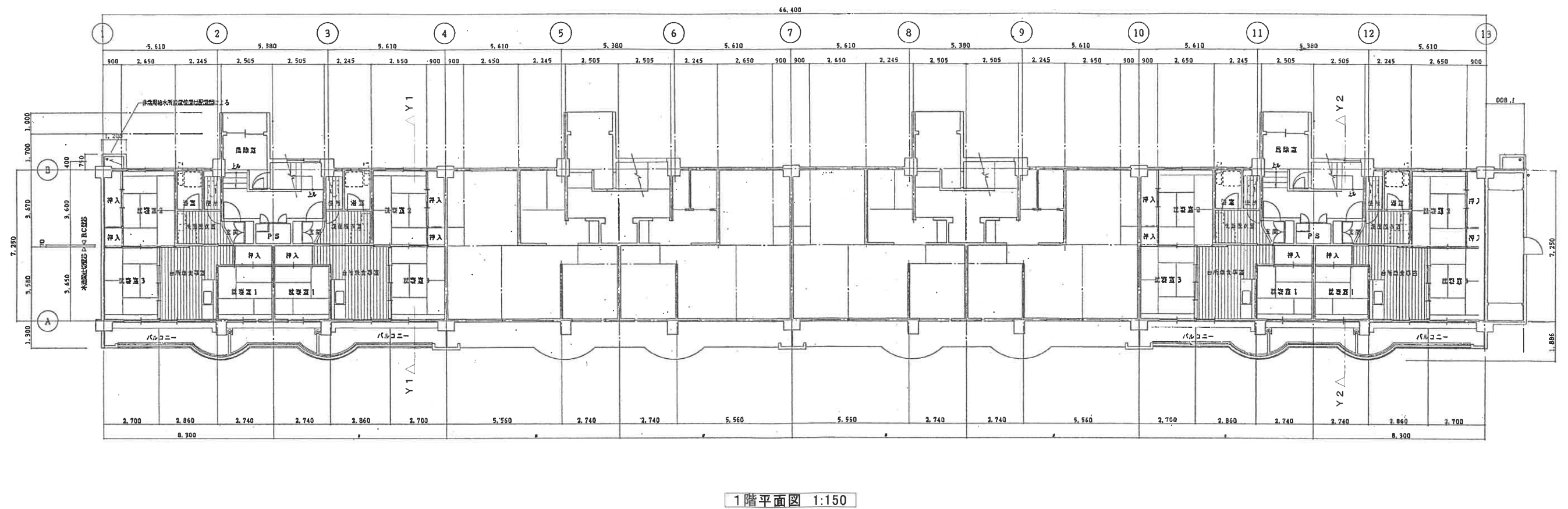
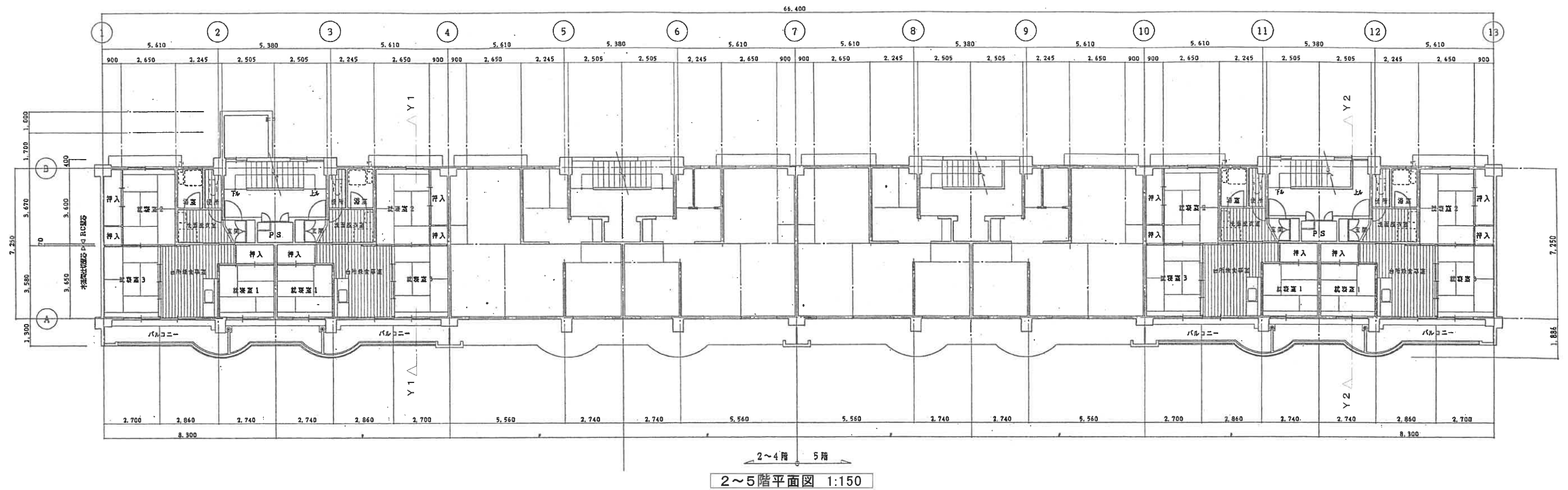
計 画 概 要		凡 例		防火性能認定番号		特記事項			
建物概要		一 般	C M CB S LGS W GW SGP VP VU RD CD :	左 官	外 薄 塗 材 E : 外装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材 外 厚 塗 材 E : 外装合成樹脂エマルション系厚付け仕上塗材 内 薄 E : 内装合成樹脂エマルション系薄付け仕上塗材 複 層 塗 材 E : 合成樹脂エマルション系複層仕上塗材 砂壁模様仕上塗材：セラスキン(山本窯業化工業)	GB-R 厚9.5 : 準不燃 QM-9828 GB-R 厚12.5～15.0 : 不燃 NM-8619 GB-F 厚9.5～25.0 : 不燃 NM-8615 GB-RH 厚9.5 : 不燃 NM-8645 GB-NC 厚9.5 : 不燃 NM-8613 GB-S 厚9.5～16.0 : 準不燃 QM-9826 GB-D 厚9.5 : 準不燃 QM-9824 GB-D 厚12.5～15.0 : 不燃 NM-8614 DR 厚9.0 : 不燃 NM-8599 GW-F : 不燃 NM-8600 GW-B : 不燃 NM-8600 ケイカル板厚5～12.0 : 不燃 NM-8576	1. 特記なき限り、既設のままと、撤去する周囲にはカッター入を行う。 2. 材料加工に先立ち寸法を実測し、実状に合った寸法に加工する。 3. 太陽光パネルの取外し、再取付は別途工事とする。 4. 5. 6. 7. 8. 9. 10.		
敷地の場所 用途地域 防火地域 指定なし その他 建蔽率 容積率			SOP : 合成樹脂調合ベイント塗 OP : 油性調合ベイント塗 VE : 塩化ビニル樹脂エナメル塗 CL : クリヤラッカー FE : フタル酸樹脂エナメル塗 NAD : アクリル樹脂系非水分散形塗料塗 AE : アクリル樹脂エナメル DP : 耐候性塗料塗 EP-G : つや有合成樹脂エマルションベイント塗 EP : 合成樹脂エマルションベイント塗 EP-T : 合成樹脂エマルション模様塗料塗 EP-AB : 吹付け水性高機能環境配慮形塗 UC : ウレタン樹脂ワニス塗 OS : オイルステイン塗 WP : 木材保護塗料塗						
施設名称 建物用途 構造・規模			ボ ー ド 類	GB-R : 石膏ボード GB-F : 強化石膏ボード GB-RH : 普通硬質石膏ボード GB-P : 吸音用穴孔石膏ボード GB-S : シーリングせっこうボード GB-D : 化粧石膏ボード GB-W : 化粧石膏ボード(木目) ケイカル : けい酸カルシウム板 スレート : セメントスレート板 F : フレキシブル板 DR : ロックウール化粧吸音板	塗 装	SR-1 : シリコーン系 SR-2 : シリコーン系 MS-2 : 変成シリコーン系 PU-2 : ポリウレタン系 PS-2 : ポリサルファイド系	屋根 		

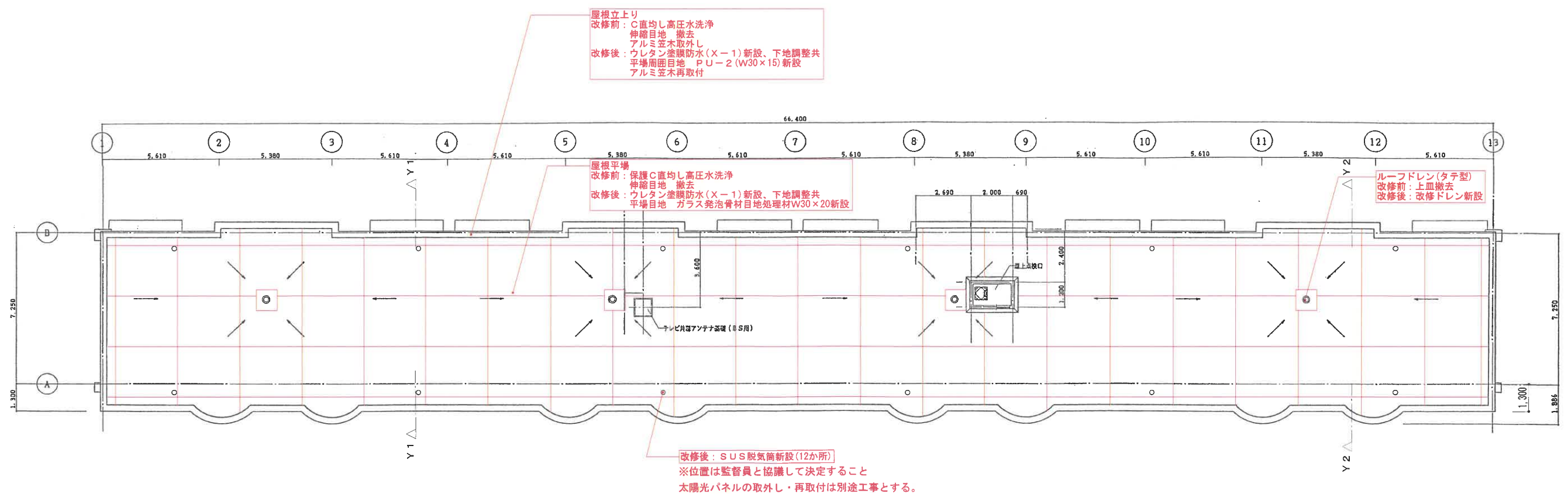
外 部 仕 上 表						
名 称	改 修 前		改 修 後	名 称	改 修 前	改 修 後
屋根	平場　：保護C厚80直均し　高圧水洗浄 ：ワイヤーメッシュ150×150×φ4、ポリエチレンシート厚0.3敷き ：歩行用アスファルト防水(断熱工法)、C直均し 立上り：C直均し　高圧水洗浄 伸縮目地W30：発砲スチロール打込みの上、アスファルトコンパウンド流し込み　撤去 パラペット笠木：アルミ既製品W300　取外し		平場　：ウレタン塗膜防水(X－1)　新設、下地調整共 ：S U S脱気筒　新設(12か所) 立上り(笠木下まで)：ウレタン塗膜防水(X－2)　新設、下地調整共 伸縮目地W30：平場中央：ガラス発泡骨材入目地処理、平場周囲：P U－2　新設 パラペット笠木：アルミ既製品W300　再取付	外壁	腰壁：C打放しH720　既設のまま 外壁：マスチック塗材ローラー塗、C打放し　既設のまま 打継目地・化粧目地：15×15　シーリング　既設のまま	
屋根 (塔屋)	防水M直均し　高圧水洗浄		ウレタン塗膜防水(X－2)　新設、下地調整共	バルコニー	C直均し　既設のまま 排水溝底：合成高分子エマルジョン入りM塗　既設のまま 笠木：アルミ既製品　既設のまま 手スリ：アルミ製B L型(目隠しパネルタイプ)　既設のまま	
屋根 (玄関他)	平場　：ウレタン塗膜防水、C直均し　既設のまま 立上り：ウレタン塗膜防水、C直均し　既設のまま					
庇	防水M塗、C下地　既設のまま					
軒裏	マスチック塗材ローラー塗、C打放し　既設のまま					
樋	ルーフドレン：鋳鉄製φ100　上皿撤去 竖樋：S O P塗、S G P φ89.1　既設のまま		ルーフドレン：改修ドレン(タテ型)　新設 竖樋：S O P塗、S G P φ89.1　既設のまま			



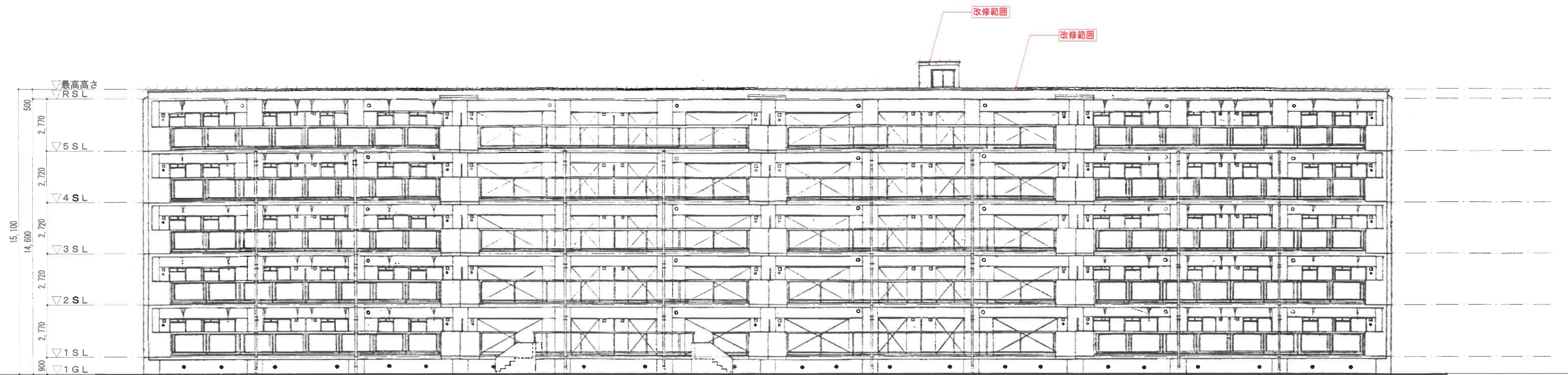
付近見取図



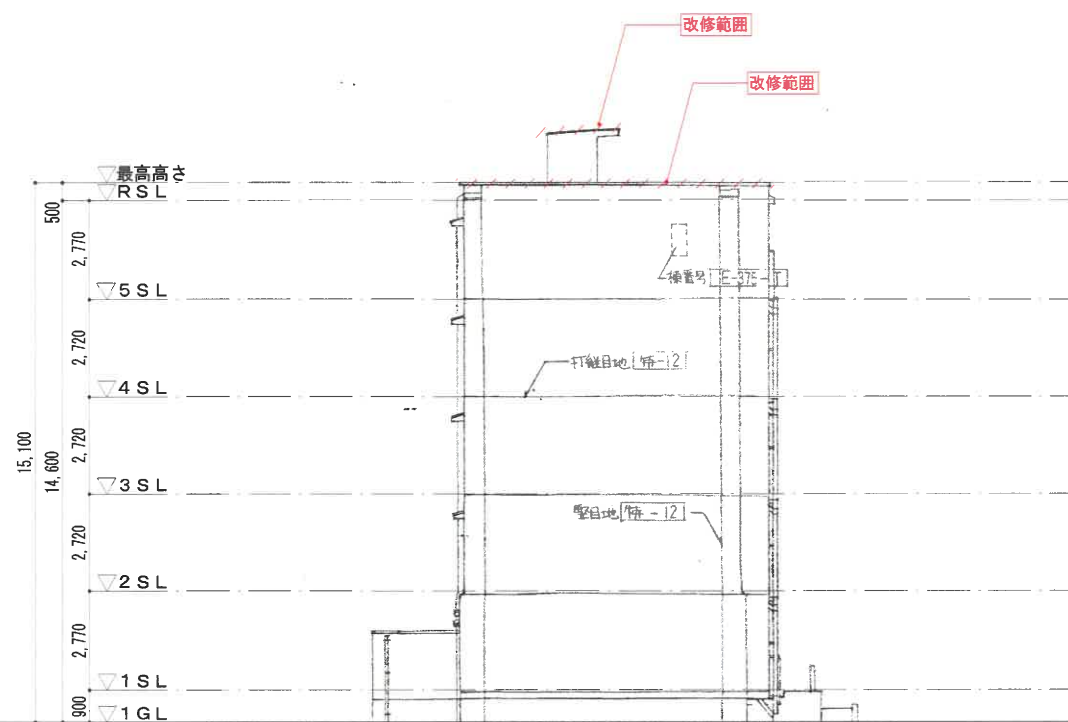




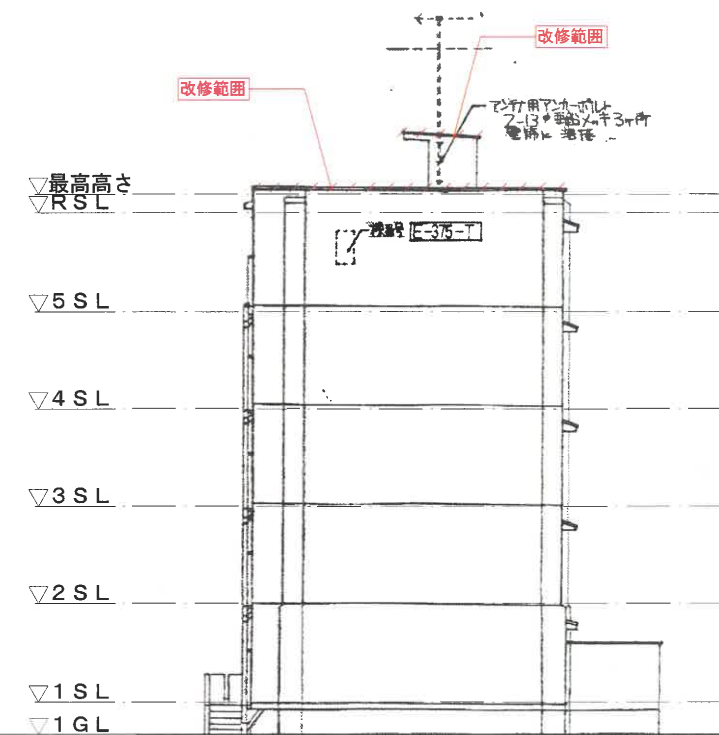
R階平面図 1:150



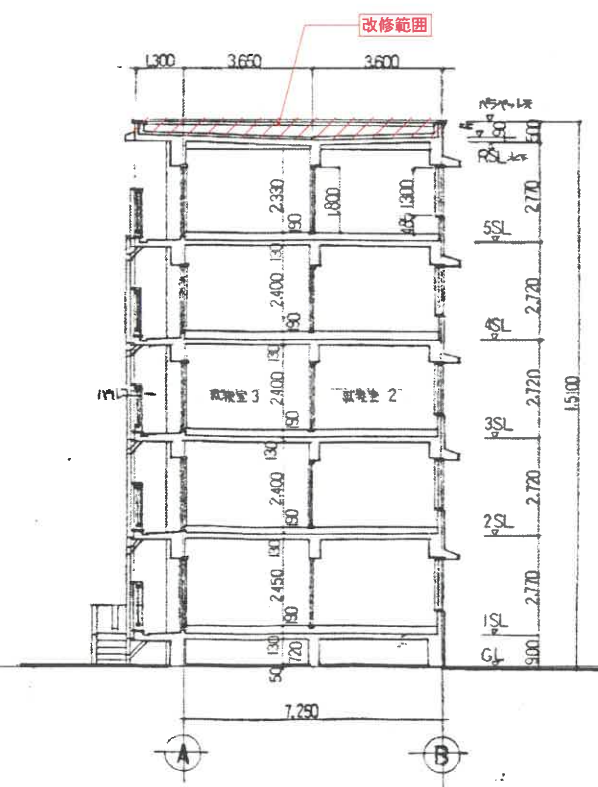
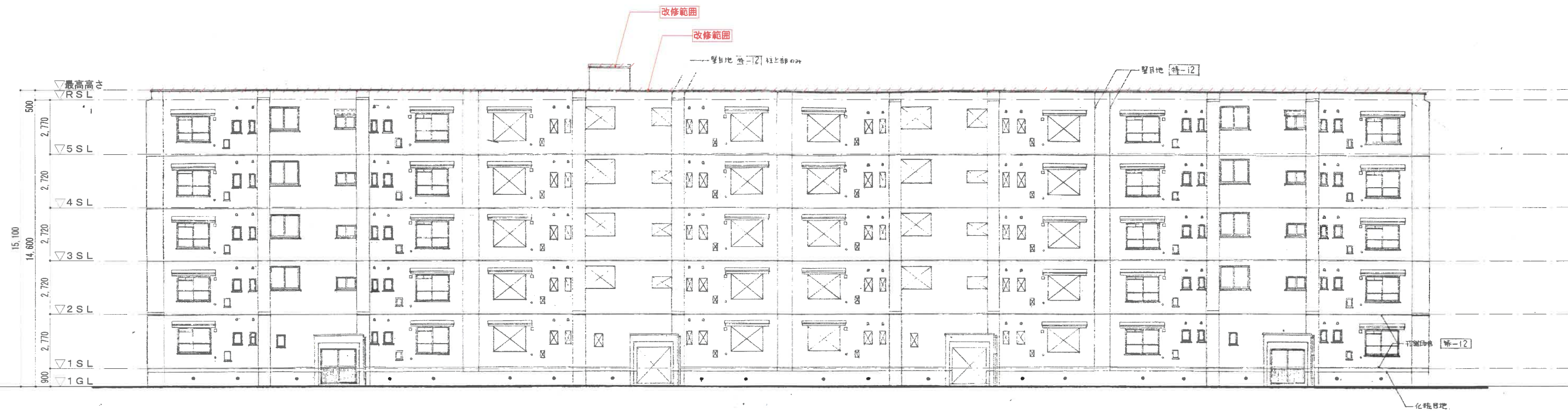
南側立面図 1:150



西側立面図 1:150

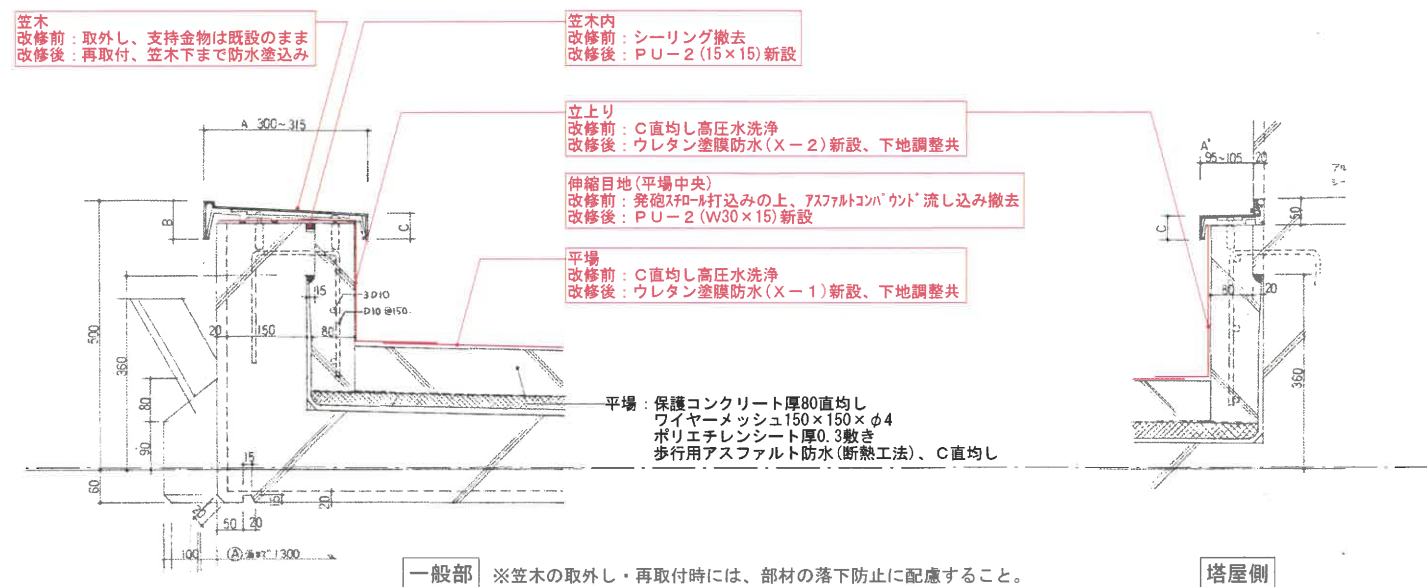


東側立面図 1:150

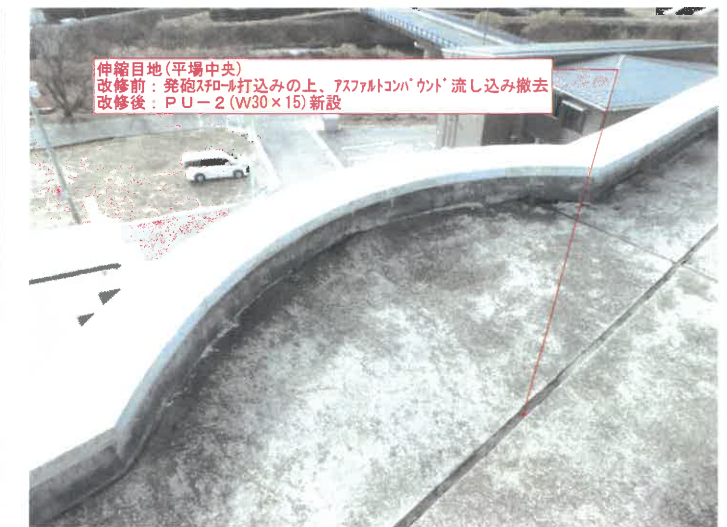




パラペット部 1:10

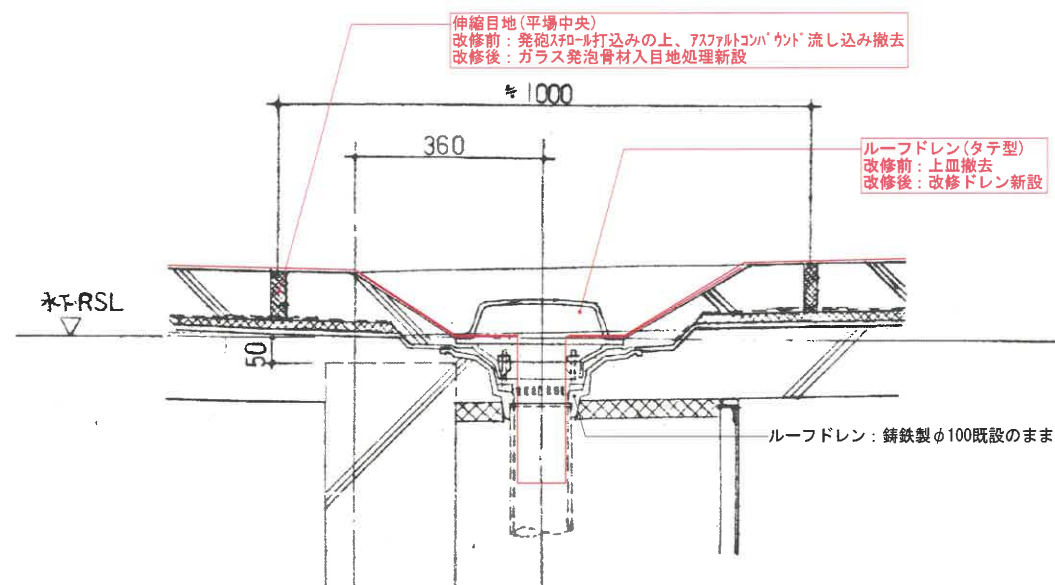


現況写真



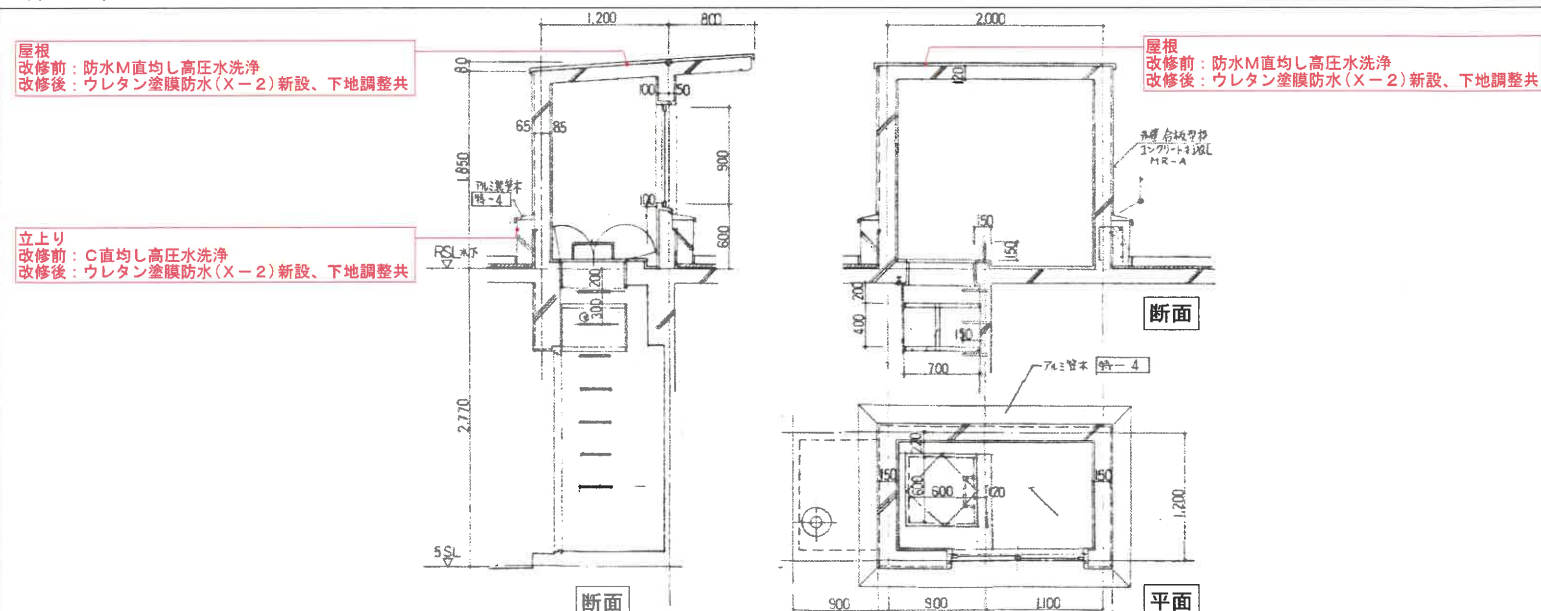
現況写真

ルーフドレン部 1:10



現況写真

屋上点検口 1:50



現況写真

屋根
改修前：防水M直均し高圧水洗浄
改修後：ウレタン塗膜防水(X-2)新設、下地調整共

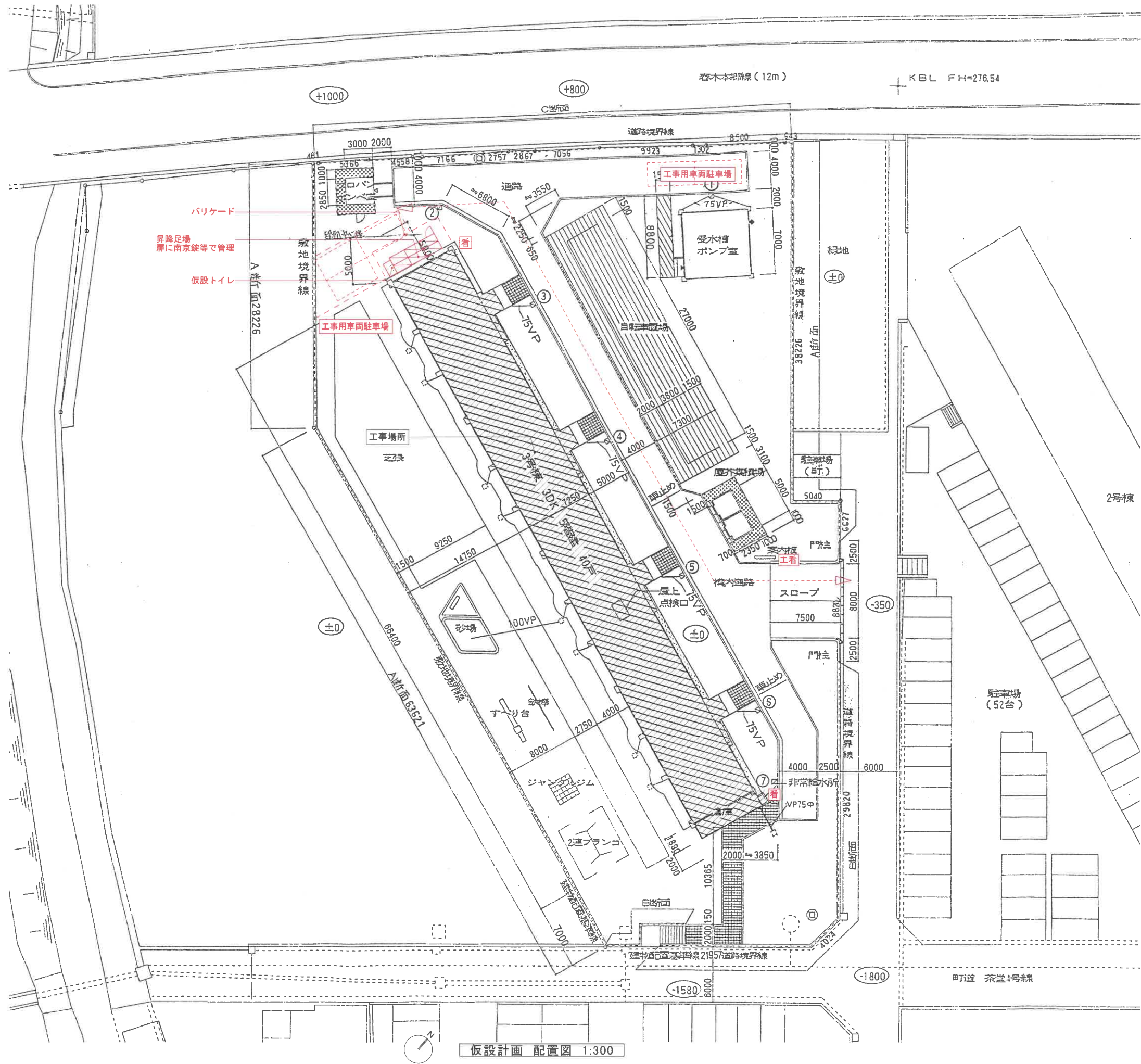
立上り
改修前：C直均し高圧水洗浄
改修後：ウレタン塗膜防水(X-2)新設、下地調整共

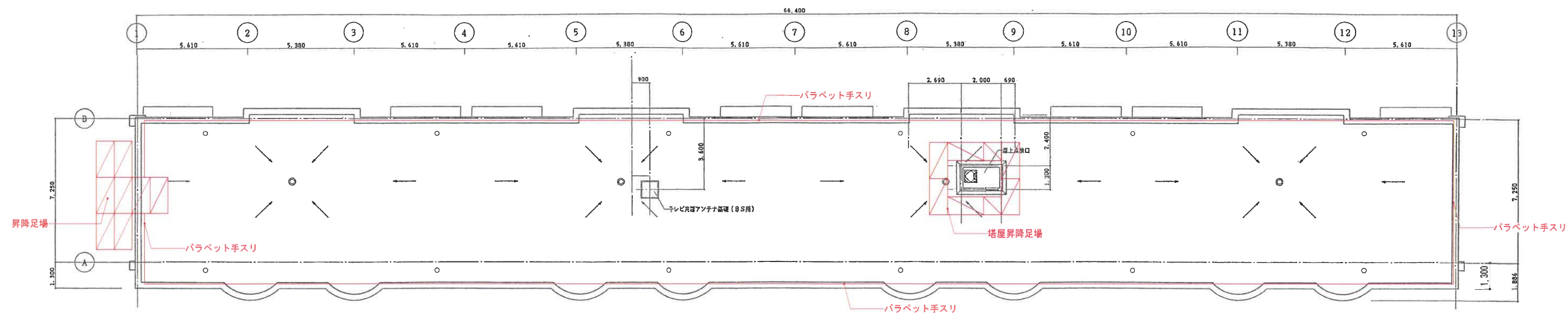
平場
改修前：C直均し高圧水洗浄
改修後：ウレタン塗膜防水(X-1)新設、下地調整共

伸縮目地(平場中央)
改修前:発砲スチロール打込みの上、アスファルトコンパウンド流し込み撤去
改修後:ガラス発泡骨材目地処理新設

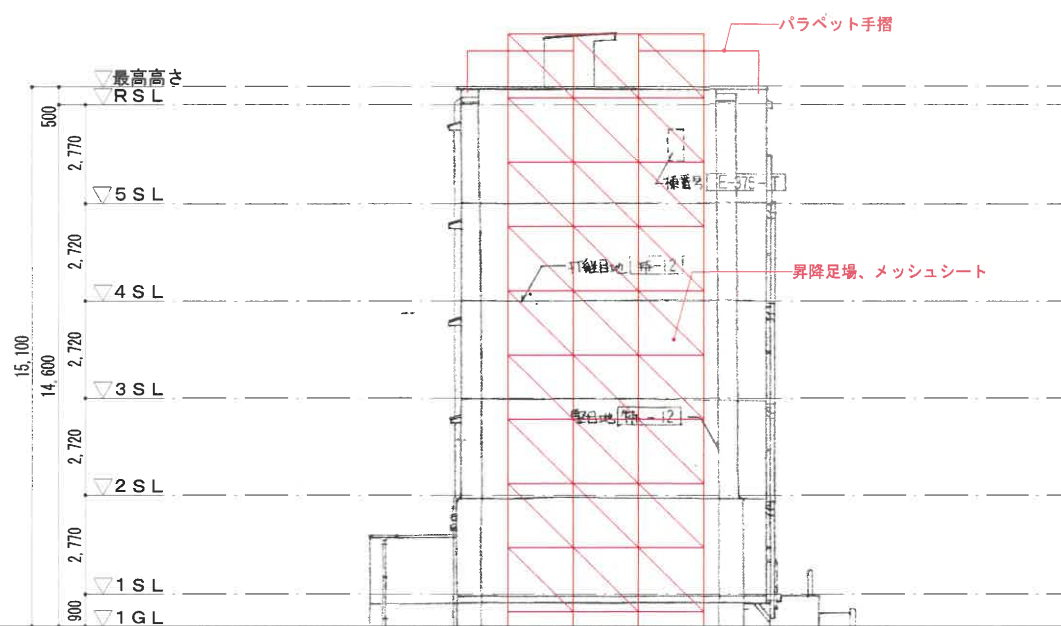
凡例

	動線：工事関係進入経路
	バリケード
	工事中協力用看板
	工事用看板
特記事項	
・仮設図に記載された仮設資材等は、発注者の考え方を示したものであって、実際の施工においては、事前に詳細な調査・協議・検討を行い、より安全な施工に努めること。	
・材料搬入時、大型車両の出入り時、または、住民が混雑する時間帯（朝、夕方）に車両の出入りがある場合は、交通誘導員を配置すること。	
・工事関連設備・資材を建物廻りに工程上やむを得ず設置する場合は、バリケードなどの区画を行うこと。	
・バリケードは、その時々々の工程によって、関係者と協議し、柔軟に縮小、拡大を行うこと。	
・構内車道には長時間工事用車両が駐車しないこと。	





仮設計画 R階平面図 1:150



仮設計画 西側立面図 1:150